

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームこのゆびと一まれ

作成日 平成 28年 7月 2日

【目標達成計画】No.1

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	ご自分で整容が出来ない方に対する支援が不十分であり、髭が伸びていたり、眼脂がついていたり、寝癖がついている方がいる。	皆さんが身だしなみを整え、気持ちよく生活することが出来る。	①モーニングケア、または朝のバイタルチェック後に整容を支援するよう業務に組み込む。 ②整容が不十分であることに気付く視点を養う。	1か月
2	48	帰宅願望や不穏が強い方、意思を伝えることができる方への対応やケア以外の業務に手を取られ、ご自分で意思を伝えたり、活動することが困難な方への支援が疎かになっている。	自分からの意思表示や活動が困難な方でも、その方なりに充実した日々を過ごすことができる。	①何を考え、何を思い、何を必要としているのかを知る。 ②生活歴や残存機能から、どういった役割や楽しみごとができるか考える。 ③少しの時間でも、その方に寄り添う時間を作る。	6か月
3	6	職場内研修を行い、身体拘束の理解に努めており、目に見える身体拘束は無いが、転倒事故防止のためのスピーチロックや、離園事故防止のために外へ通じる場所の簡易的な施錠や二重ロック、柵の設置などがおこなわれている現状がある。	スピーチロックの廃止。離園事故の危険性がある方が安心して穏やかに日々を過ごすことができることにより、二重ロックや柵を撤去することができる。	①どういった言葉がスピーチロックになるのか具体例を挙げて研修をおこなう。 ②帰宅願望が現れた時、気分転換に外出ができる体制を作る。 ③ご家族による外出支援・面会・電話などの協力を得る。 ④穏やかな時間を長く作るために、役割や、楽しみごと等のバリエーションを増やす。	12か月